

R4.10.20(木) 福岡県老人福祉施設協議会

「ソーシャルワーカーとして求められる相談員の機能とは」～今、あらためて相談の役割を問う～ シンポジストとして登壇。

令和4年10月20日、福岡県老人福祉施設協議会主催、
「ソーシャルワーカーとして求められる相談員の機能とは」
～今、あらためて相談の役割を問う～というテーマで、
当院 福岡県認知症医療センター室長である
精神保健福祉士の江頭がシンポジストとして登壇頂きました。



江頭からは、「PSW からみた相談員とは」という演題で、①当院紹介、福岡県認知症（疾患）医療センターの取り組み、②PSW からみた相談員とは（理想）、③PSW からみた相談員とは（実際）、④おわりに PSW から相談員に求めるものについて、話題提供させて頂いた。

江頭以外に、「教育現場が求める相談員の機能」～ソーシャルワーカーの養成を通して～という演題で、熊本学園大学 社会福祉学部 教授 黒木 邦弘先生が基調講演、シンポジストとして、「介護福祉士が求める相談員の役割」という演題で、特別養護老人ホーム桜の丘 事業部長 入江恵美様、「相談員が目指す今後の相談員像とは」という演題で、特別養護老人ホーム悠生園 地域連携部長 西方 隆司様、「施設長が求める相談員とは」という演題で、特別養護老人ホーム吉富鳳寿園 施設長 三笠 直樹様が登壇されました。

当日は、46名の参加者の方々と学びのひとときを過ごすことが出来ました。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、

このような機会を頂きました、

福岡県老人福祉施設協議会、

福岡県老人福祉施設協議会 研修企画部会

藤村昌憲様始め皆様など

関係者の方々に感謝いたします。

